

自主防災組織

で地域ぐるみの安心・安全な地域社会づくり

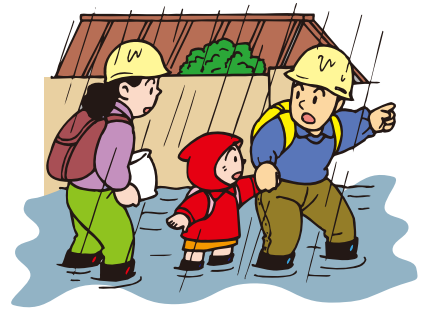
～「自助」「共助」「公助」による災害に強い地域社会づくり～



自主



防災



～自主防災組織とは～

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方になって、自主的に防災活動を行う組織です。

大規模な災害発生直後では、消防や警察など公的機関の行う活動には、限界があります。このため、身近な地域社会で結束して助け合い、災害に対処することが大切となります。

目次

- 自主防災組織とは…………… P1
- 県内の自主防災組織の活動事例…………… P2
- 鹿児島県の自主防災組織結成の取り組み… P3
- 災害時要援護者にやさしい地域づくり… P4
- マンションにおける自主防災活動…………… P5
- 県内の市町村別自主防災組織率一覧…………… P6
- 鹿児島県防災研修センター…………… P7



鹿児島県

～自主防災組織とは～

1. 自主防災組織とは

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方にたって、自主的に防災活動を行う組織のことを言います。

自治会、町内会などの組織を生かして結成されることが一般的ですが、地域の実情により小学校区単位で結成される場合などもあります。



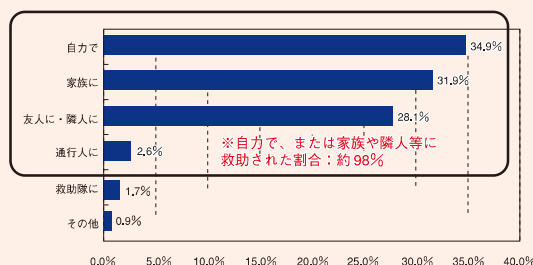
2. 自主防災組織の必要性

近年、全国各地で発生している地震、台風、豪雨などの災害をきっかけに、防災に対する関心が高まっています。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災で、生き埋めにされたり建物等に閉じこめられた方々の多くが、自力で、または家族や隣人によって救助されています。

大規模な災害が発生した直後は、防災機関による対応が困難なため、地域住民がお互いに助け合い、人命救助や初期消火にあたることで被害をより少なくすることにつながります。

図 生き埋めや閉じ込められた際の救助



※自力で、または家族や隣人等に救助された割合：約98%

資料：(社)日本火災学会
「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」

3. 自主防災組織の活動例

① 平常時の活動例

(リーダーを中心に楽しく活動しましょう)

- ・ 防災に関する知識の普及啓発
(研修会への参加など)
- ・ 災害発生の未然防止
(危険箇所の点検など)
- ・ 災害発生に備えて地域を知るための活動
(地域防災地図の作成など)
- ・ 災害発生時の活動を習得するための活動
(消火・避難訓練など)
- ・ 災害発生時の活動に備えるための活動
(資機材の整備など)

② 災害時の活動例

(班を作って活動すると効果的です)

- ・ 情報収集伝達活動……………情報班
(警報の伝達など)
- ・ 初期消火活動……………消火班
(消火器による消火活動など)
- ・ 避難誘導活動……………避難誘導班
(安否確認や災害時要援護者への援助など)
- ・ 救出救護活動……………救出・救護班
(負傷者の救護など)
- ・ 給食給水活動……………給食・給水班
(炊き出し、水や食料の配分など)

4. 自主防災組織の結成方法

自主防災組織は、地域の住民が組織結成に合意し、規約、組織、活動内容を定めることで結成できます。(届出の方法は各市町村役場にお問い合わせください。)

① 自治会などのコミュニティ内で話し合いを進めましょう

- ・ どの範囲(地域)を対象とするのか
- ・ どのような活動を行うのか
- ・ どのような組織にするのか

② 地域住民が自主防災組織の結成に合意したら、簡単な規約等を定めましょう。

(規約例等は市町村役場にお問い合わせください。)

③ 自主防災組織の結成(自治会の総会での承認)

④ 市町村へ設立を届けましょう。



～県内の自主防災組織の活動事例～

1. 自主防災組織の活動事例



鹿児島市 中名校区自主防災会(避難訓練)



いちき串木野市 金山公民館自主防災会(避難誘導訓練)



枕崎市 湯穴自主防災会(要援護者避難訓練)



薩摩川内市 内川内地区自主防災組織(心肺蘇生)



徳屋市 あんしんネットワーク笠之原自主防災部会(避難所運営訓練)



垂水市 市木地区自主防災組織(搬送訓練)



西之表市 現和校区防災会(災害パネルの展示)



屋久島町 原地区自主防災組織(消火訓練)



奄美市 小俣町防災会(救助訓練)

※自主防災組織の活動事例は県ホームページ(トップページ)↓危機管理・防災↓災害に備えて↓防災に関する施策↓自主防災組織の結成促進)に掲載されています。

2. 自主防災組織の表彰事例

鹿児島県では、県防災対策基本条例の施行に伴い、平成20年5月に開催した鹿児島防災シンポジウムにおいて、地域における防災対策の推進に功績のあった「本俣自主防災組織(薩摩川内市)」及び「市木地区自主防災組織(垂水市)」の2団体の県知事表彰を行いました。

今後、地域の安全を確保し、被害を最小限にとどめるには、県内各地でこのような自主防災組織による地域ぐるみの防災活動が、求められています。



垂水市 市木地区自主防災組織



薩摩川内市 本俣自主防災組織



受賞団体の代表

○本俣自主防災組織(薩摩川内市)

- ・雨量計を基にした独自の避難基準の導入
- ・住民全員参加による防災訓練の実施
- ・平成18年の県北部豪雨災害に際し、雨量計を基にした独自の避難基準により、早めの集団避難を実施し、人的被害を回避

○市木地区自主防災組織(垂水市)

- ・避難訓練、救護訓練等の実施
- ・平成17年9月の台風14号の際に、安全避難誘導のための避難路を確保
- ・平成18年7月の集中豪雨において垂水市の避難勧告発令前から地域ぐるみで自主的に避難し、人的被害を回避

～鹿児島県の自主防災組織結成の取り組み～

1.地域ぐるみ自主防災組織育成強化事業

①地域自主防災組織設立促進協議会や講演会開催(H21～)

県の地域振興局（支庁）単位で協議会を設置し、自主防災組織の結成促進及び活動活性化に向けた取り組みについて検討を行うとともに、気運醸成のための講演会を開催しています。



大隅地域自主防災組織設立促進協議会

②マンション等における自主防災組織の結成促進(H21)

NPO法人鹿児島県マンション管理組合連合会の協力のもと、マンション等における自主防災組織の結成促進のための研修会を開催し、意欲のあるマンションを5箇所選定して自主防災組織の結成に向けた検討会や防災セミナーを開催しました。

③土砂災害警戒区域等における自主防災組織の結成促進(H22～)

土砂災害警戒区域等を抱える自主防災組織未結成地区において、NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会と共催で、地域防災地図作成や危険箇所の点検等を通じて、地域ぐるみの避難体制を検討し、自主防災組織の結成を促進しています。



危険箇所の点検

2.地域防災推進員養成講座

防災に関する実践的知識と技術を有し、地域における自主防災組織の結成や防災活動の指導的役割を担う人材を育成するための講座を毎年開催し、平成22年度までに277名の方々を地域防災推進員として認定しています。



地域防災推進員養成講座

3.自主防災組織リーダー養成研修会（防災啓発研修会）

毎年、防災の日（9月1日）に合わせて、町内会及び自主防災組織のリーダー等を対象に、防災意識の高揚を図るための研修会を鹿児島市、(財)消防科学総合センターと共催で開催しています。



出前講座

4.県防災研修センター(始良市)の出前講座

県防災研修センターでは、自主防災組織や町内会等に出向いて実施する出前講座を無料で行っています。お住まいの市町村役場を通じて、防災研修センターにお申込みください。研修内容は、リーフレット裏面を、アドバイザーについては、県ホームページをご覧ください。

地域の防災地図を作成しましょう。

自主防災組織など地域住民が効果的な防災対策を実施するためには、住民が意見を出し合って「地域防災地図」を作成し、地域ぐるみの早めの避難体制や災害時要援護者対策などを検討することが最も有効な手段のひとつです。

県では、平成20年度に県内4箇所をモデル地区に指定し、研修会を開催した成果を「地域防災地図作成の手引き」としてまとめました。

※この手引きは県ホームページ（トップページ→危機管理・防災→災害に備えて）から入手できます。
※地域防災地図作成研修（DIG；災害図上訓練）は、県防災研修センターの出前講座で受講できます。



地域防災地図作成の手引き